

化粧品は単に肌表面のためではなく、体や意識全体にまで作用するもの

コンスタンチン・コロコフ/アヴェダ コンサルタント、物理学者、生物学者

PROFILE: ロシア出身。サントペテルブルグ国立体育学研究所副所長。これまで物理学・生物学の有力学会誌に計 200 本以上の論文を発表。生物物理学の発明で 17 件の特許を取得。哲学者としての顔を持つほか、登山歴は 25 年以上の本格派



アヴェダの「チャクラ」シリーズに、科学の分野から関わった。1995年に自身が開発し、チャクラシリーズに応用したのが「GDV」と呼ばれるガス発散視覚化技術。人体や植物、液体などの物体を入り出すエネルギーを測定し、可視化する機械だ。

「人間の健康状態を診断するのに応用でき、実際にロシアや欧州では医療機器として認められている。また、運動能力の測定や、意識がどう物質世界に働きかけるかなど、身体的、心理的状態の診断と治療に大きな可能性を秘めている」と語る。

この10年間、アヴェダのコンサルタントとして「コスメは単に肌表面のためではなく、その人の体や意識全体に作用するもの」という考えで、共同研究に携わってきた。調香師が調香したものをGDVで測定することにより、チャクラシリーズの機能性を証明。「私たちのエネルギーレベルは高いときも低いときもあるが、できるだけ適正な位置に持って

くることが大事。チャクラはそれを手助けしてくれるもの」と言う。

さらに、化学組成がたとえ同じでも、合成したオイルと天然由来のエッセンシャルオイルではエネルギーレベルが全く違う。「さらにそれをを使う人に及ぼすエネルギーレベル、生理学的な体の変化も全く違う。天然由来の原材料が持つピュアな力だからこそ可能」。

意識の研究にも力を入れ、「化粧品も“意識がどう人に影響を及ぼすか”という分野の一部だと思う。良い製品で手入れをすると、その意識が美を磨く。自分がキレイだと意識することも大事(笑)。使うことでよりハッピーになれるものを開発していきたい」と抱負を語った。



博士が開発に携わったチャクラ バランシング ミスト(全7種)